皆様、お世話になっております。手島利夫です。

今回は③つのお知らせをします。

①、　大分県教育庁大分教育事務所長さんから、うれしいお知らせをいただきましたので、その紹介です。

「生活科・総合的学習の学会全国大会を令和元（２０１９）年６月１５日・１６日大分で開催するに当たり、自由研究に数本ＥＳＤの発表があります。また、１日目の会場地区の大分県佐伯（さいき）市は、９つの市町村が合併し、なお人口減少が激しい地域です。子どもたちにその喫緊の課題を解決していく力を幼稚園、小中学校から付けていかなければ町がなくなる、という危機を感じ、市と市教委が「ふるさと創生事業」を長期計画に掲げ、域内のＳＳＨ指定校や総合学科の高校も一緒になって取り組んでいるところです。ＳＤＧｓと銘打ってはいませんが、学校段階に応じて付けたい資質・能力を整理した考えは、同じような考えと思いますし、それを全教科等で取り組み目標達成するというカリマネの推進も必須と思っています。

ご案内や資料を添付していますので、お時間ありましたらご覧いただき、大分へも足を運んで、協議の際にぜひご意見ください。」

とのことでした。

今回の指導要領改訂では、「各学校の教育目標や教育課程編成の際に総合的な学習の時間の目標との関連を図るものとする」と明示されている（下の資料をご参照ください）こともあり、生活・総合の全国大会で、このことを踏まえて何が話されるのか、大変気になるところです。私としては、個々の実践の進め方やその成果もさることながら、その背後で（都道府）県としてどのように「総合」を踏まえた教育施策が進められ、各学校の教育目標や教育課程編成に対する指導が行われているのか、大分県の具体的なお取組みやその成果も気になります。また、文部科学省がこの大会を通じてどのような発信をし、それを、どの都道府県や市区町村の教育委員会のご担当者がどのように受け止めるのかという点からも大変興味をもっております。大分県各校の教育目標はどう変わったのか、教育課程はどのように編成されたのか・・・

大会の詳細は添付資料をご覧ください。

【以下は今大会で私が気になっている部分の資料です。】

学習指導要領の総則　第2「教育課程の編成」

　　　「教育課程の編成に当たっては、学校教育全体や各教科等における指導を通して育成を目指す資質・能力を踏まえつつ、各学校の教育目標を明確にするとともに、教育課程の編成についての基本的な方針が家庭や地域とも共有されるよう努めるものとする。その際、第5章**総合的な学習の時間の第2の1に基づき定められる目標（※Ａ）との関連を図るものとする**。」

第5章　総合的な学習の時間

　第　１　　目標

　探究的な見方・考え方を働かせ，横断的・総合的な学習を行うことを通して，

よりよく課題を解決し，自己の生き方を考えていくための資質・能力を次のとお

り育成することを目指す。

⑴　探究的な学習の過程において，課題の解決に必要な知識及び技能を身に

付け，課題に関わる概念を形成し，探究的な学習のよさを理解するようにす

る。

⑵　実社会や実生活の中から問いを見いだし，自分で課題を立て，情報を集

め，整理・分析して，まとめ・表現することができるようにする。

⑶　探究的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに，互いのよさを生か

しながら，積極的に社会に参画しようとする態度を養う。

　第　⒉　　各学校において定める目標及び内容

（※Ａ）

１　目　標 　各学校においては，第１の目標（※上記青色の部分）を踏まえ，各学校の総合的な学習の時間の目標を定める。

　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

次の話題です

②、　「全市を挙げてＥＳＤを踏まえた教育改革を進めたい」

来年度から始まる学習指導要領の全面実施に向けて、ある市の幼小中の先生方（９００名）を対象とした研修会のご依頼を受けました。５月８日に実施します。

　　従来も、県教育委員会主催のＥＳＤ研修会等はありましたし、ある地区の小中合同研修会というスタイルや、全校生徒（と教職員）に向けてのＳＤＧｓ授業、あるいは議員さん、教育委員さん方対象などという研修会はありましたが、全市の先生方を一堂に集めての「講演会」スタイルは初めてです。

　　「全市を挙げてＥＳＤを踏まえた教育改革を進めたい。」という高い意識をおもちの教育長さんやご関係された皆様のご英断と受け止めております。

限られた時間、大ホールという限られた空間で、教育の方向転換につながる、先生方の意識改革が実現できるのか、チャレンジングなお話です。

　　どうしても一方通行のお話になりがちですし、新しい時代の学び方を古い時代の「講義式」で伝えることにも抵抗があります。形を工夫した「対話」を生かしながら、ぜひとも実現してみたいと思います。

　　**この講演会終了後には、ご希望の皆様に講演会で使用したプレゼンデータや配布資料等をセットで公開したいと思っております。メールにてお声かけください。**

③　平成最後の話題は「Society5.0創造化社会の教育」です

創価大学さんは、昨年度ユネスコスクール支援大学間ネットワークに加盟し、八王子市を含む多摩地域の学校が同スクールに参加する際のサポート等を行ってきましたが、支援プロジェクトを進めるにあたり学内で「学校におけるＥＳＤの進め方」について共有したいということで、勉強会の開催への協力依頼をいただきました。

同大学教育学部・教職大学院の主催ですので、

明治から昭和まで（Society3.0の工業化社会）で求められた教育や、

平成（情報化社会：Society4.0）で求められた知識急増時代の教育を越え、

令和の「持続可能な社会の実現を目指して価値を生み出す創造化社会」（Society5.0）の教育に立ち向かう、教育系大学としての生き残りをかけた勉強会にしていただく必要（？）を感じております。

　この勉強会の中身は、ユネスコスクールに限らず、学校教育の生き残りをかけた教育改革の進め方につながり、またこの先の「学校づくり・学習づくり」の基盤になるものにもしてまいりたいと思っております。

　八王子からバスだそうですが、パリやロサンゼルスに行くよりはかなり近いと思いますので、ご興味のある方は奮ってお集まりください。

　地図・申し込みはＰＤＦ参照